

18 指揮者のために。主のしもベダビデによる。主が、彼のすべての敵の手、特にサウルの手から彼を救い出された日に、この歌のことばを主に歌った

18:1 彼はこう言った。主、わが力。私は、あなたを慕います。

18:2 主はわが巖、わがとりで、わが救い主、身を避けるわが岩、わが神。わが盾、わが救いの角、わがやぐら。

18:3 ほめたたえられる方、この主を呼び求めると、私は、敵から救われる。

18:4 死の綱は私を取り巻き、滅びの川は、私を恐れさせた。

18:5 よみの綱は私を取り囲み、死のわなは私に立ち向かった。

18:6 私は苦しみの中に主を呼び求め、助けを求めてわが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、御前に助けを求めた私の叫びは、御耳に届いた。

18:7 すると、地はゆるぎ、動いた。また、山々の基も震え、揺れた。主がお怒りになったのだ。

18:8 煙は鼻から立ち上り、その口から出る火はむさぼり食い、炭火は主から燃え上がった。

18:9 主は、天を押し曲げて降りて来られた。暗やみをその足の下にして。

18:10 主は、ケルブに乗って飛び、風の翼に乗って飛びかけられた。

18:11 主はやみを隠れ家として、回りに置かれた。その仮庵は雨雲の暗やみ、濃い雲。

18:12 御前の輝きから、密雲を突き抜けて来たもの。それは雷と火の炭。

18:13 主は天に雷鳴を響かせ、いと高き方は御声を発せられた。雷、そして、火の炭。

18:14 主は、矢を放って彼らを散らし、すさまじいいなすまで彼らをかき乱された。

18:15 こうして、水の底が現われ、地の基があらわにされた。主よ。あなたのとがめ、あなたの鼻の荒いいぶきで。

18:16 主は、いと高き所から御手を伸べて私を捕え、私を大水から引き上げられた。

18:17 主は私の強い敵と、私を憎む者とかから私を救い出された。彼らは私より強かったから。

18:18 彼らは私のわざわいの日に私に立ち向かった。だが、主は私のささえであった。

18:19 主は私を広い所に連れ出し、私を助け出された。主が私を喜びとされたから。

主はここにあるように恐るべき力を持ったお方であると理解しましょう。敵がどれほど強くても、天地の創造者に勝てるわけがありません。そして私たち自身も、この主を自由に仕えさせることなどできません。主は御自身のみこころだけを、誰にも影響されることなく完成することのできる方なのです。

この主に祈っているのだと知しましょう。この主に愛されているのだと安心しましょう。またこの主に知られているのだと、恐れましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

